

平成 25 年 5 月 31 日

各 位

水 戸 信 用 金 庫
理事長 埜 由 博

朝日新聞記事(H25.5.30 付)のご説明について

謹啓 梅雨の候、時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、朝日新聞に、弊金庫の融資案件が無担保融資で結果的に不良債権化したとの記事が掲載されました。この件につきまして、弊金庫の姿勢をご説明させていただきます。

弊金庫の融資方針は、地域金融機関の役割や社会性を十分に考慮して、地域の中小企業を支えるということです。一律に担保がないから融資ができないとか、経営が悪化したからすぐに取引を解除するといったことはできません。お客様の工事実績や経営改善計画も確認して、融資の妥当性を判断しております。

ましてや、金融円滑化法の最中にあるには、経営改善計画に基づき事業を継続していこうとするお客様に対しては、可能な限り支援をしていく方針でありました。取扱基準に則った審査の過程を経て融資支援していたものであり、不適切な融資だったということは断じてありません。

掲載記事の内容には、事実誤認と思われる箇所が多数含まれておりますので、今後については、金庫として毅然とした対応をとってまいります。

お客様には、ご迷惑とご心配をおかけすることとなり深くお詫び申し上げます。

弊金庫の事業内容をご理解の上、今後ともお引き立て、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

謹 白